

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 イマジニア株式会社

上場取引所 東

コード番号 4644

URL <http://www.imagineer.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO

(氏名) 神藏 孝之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO

(氏名) 中根 昌幸

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

TEL 03-3343-8911

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	2,734	△3.9	530	△23.9	663	△6.4	483	4.3
25年3月期第3四半期	2,844	3.6	697	102.6	709	111.7	463	85.1

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 645百万円 (37.4%) 25年3月期第3四半期 470百万円 (112.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	50.41	—
25年3月期第3四半期	48.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	9,038	8,514	94.2	886.70
25年3月期	8,985	8,079	89.9	841.42

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 8,510百万円 25年3月期 8,075百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
26年3月期	—	10.00	—		
26年3月期(予想)				12.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,974	7.7	730	0.7	780	1.3	550	7.6	57.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	10,649,000 株	25年3月期	10,649,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	1,051,321 株	25年3月期	1,051,290 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	9,597,682 株	25年3月期3Q	9,597,752 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。  
なお、上記予想に関する事項は【添付資料】2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果により緩やかに回復しており、さらなる景気回復が期待されますが、世界経済の下振れによる影響や消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動が懸念されます。

当社グループの主力事業であるモバイルコンテンツ事業を取り巻く環境は、スマートフォンを中心とした携帯電話端末やタブレット端末などの普及により、音楽・映像・電子書籍等のコンテンツサービスが広がりを見せております。

このような環境下におきまして、主力であるモバイルコンテンツ事業の事業環境はフィーチャーフォンからスマートフォンへの移行が急速に進んでおります。当社グループもフィーチャーフォン向け有料サービスを中心としたビジネスから新たなビジネス構築が急務となっており、中期的な経営の方向性でもある「新たな成長へのチャレンジ」の実現に向けて取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,734,654千円（前年同期比3.9%減）、営業利益530,785千円（前年同期比23.9%減）、経常利益663,786千円（前年同期比6.4%減）、四半期純利益483,829千円（前年同期比4.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (モバイルコンテンツ事業)

モバイルコンテンツ事業におきましては、ビジネス環境が大きく変化する状況において、「auスマートパス」「NTTドコモ スゴ得コンテンツ」等のキャリア主導サービスの提供の拡大、「LINE」等のメッセージングサービスへの提供の拡大、ユーザー満足度の高いスマートフォン向けコンテンツの提供によるスマートフォン月額課金サービスの会員数増加などの取り組みによって、当該事業のビジネス範囲の拡大を図っております。

上記の結果、売上高1,762,236千円（前年同期比2.7%減）、セグメント利益670,590千円（前年同期比11.2%減）となりました。

#### (モバイルコマース事業)

モバイルコマース事業におきましては、デジタルコンテンツの連携を図り集客を強化することによって、スマートフォン向けのコマースビジネスの拡大に取り組んでおります。

また、ライセンス及びセールスプロモーションビジネスとしてライセンス提携先の拡充に、継続して取り組んでおります。

上記の結果、売上高423,757千円（前年同期比68.7%増）、セグメント利益14,220千円（前年同期は21,521千円のセグメント損失）となりました。

#### (パッケージソフトウェア事業)

パッケージソフトウェア事業におきましては、「メダロット」関連タイトルである「メダロットDUAL」をニンテンドー3DS向けに発売しております。

上記の結果、売上高344,428千円（前年同期比44.9%減）、セグメント利益871千円（前年同期比99.4%減）となりました。

#### (投資教育事業)

投資教育事業におきましては、銀行及び証券会社が投資信託を販売するための支援ツールである投資信託提案支援システムの銀行及び証券会社の導入先の拡大に取り組んでおります。また、タブレット版の開発にも取り組んでおります。

上記の結果、売上高204,373千円（前年同期比27.0%増）、セグメント利益32,664千円（前年同期は2,801千円のセグメント損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して53,003千円増加した9,038,847千円となりました。その主な要因は、投資有価証券が3,595,082千円の増加となったものの、現金及び預金が3,301,766千円の減少となったことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して381,612千円減少した524,253千円となりました。その主な要因は未払法人税等が273,737千円の減少及びその他流動負債が78,864千円の減少となったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して434,615千円増加した8,514,593千円となりました。その主な要因は、利益剰余金が272,679千円の増加及びその他有価証券評価差額金が161,900千円の増加によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の連結業績見通しは、平成25年5月10日付の決算短信で公表した数値からの変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結累計期間において、イマジニア・インベストメントエデュケーション株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,293,493	2,991,727
売掛金	654,518	642,716
有価証券	74,261	—
商品及び製品	17,891	16,245
仕掛品	1,244	5,335
原材料及び貯蔵品	12	12
その他	159,044	124,639
貸倒引当金	△15,155	△19,232
流動資産合計	7,185,310	3,761,444
固定資産		
有形固定資産	79,295	66,108
無形固定資産	50,965	41,364
投資その他の資産		
投資有価証券	1,350,470	4,945,553
その他	343,560	242,735
貸倒引当金	△23,759	△18,359
投資その他の資産合計	1,670,272	5,169,929
固定資産合計	1,800,532	5,277,402
資産合計	8,985,843	9,038,847
負債の部		
流動負債		
買掛金	60,882	78,163
営業未払金	313,601	253,809
未払法人税等	293,987	20,250
賞与引当金	—	13,500
その他	237,395	158,530
流動負債合計	905,865	524,253
負債合計	905,865	524,253
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,669,000	2,669,000
資本剰余金	2,466,023	2,466,023
利益剰余金	3,549,527	3,822,207
自己株式	△622,299	△622,323
株主資本合計	8,062,250	8,334,906
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,500	175,400
その他の包括利益累計額合計	13,500	175,400
新株予約権	4,226	4,286
純資産合計	8,079,977	8,514,593
負債純資産合計	8,985,843	9,038,847

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	2,844,953	2,734,654
売上原価	1,133,973	1,207,761
売上総利益	1,710,980	1,526,892
販売費及び一般管理費	1,013,503	996,106
営業利益	697,477	530,785
営業外収益		
投資事業組合運用益	6,795	113,831
貸倒引当金戻入額	5,400	5,400
違約金収入	4,200	—
その他	16,685	15,778
営業外収益合計	33,080	135,009
営業外費用		
持分法による投資損失	21,010	1,889
その他	1	119
営業外費用合計	21,011	2,009
経常利益	709,545	663,786
特別利益		
投資有価証券売却益	—	208,016
固定資産売却益	20,000	—
負ののれん発生益	—	5,002
受取和解金	62,535	—
特別利益合計	82,535	213,018
特別損失		
投資有価証券評価損	9,998	—
投資有価証券売却損	—	142,595
その他	577	—
特別損失合計	10,575	142,595
税金等調整前四半期純利益	781,506	734,209
法人税、住民税及び事業税	313,966	185,734
法人税等調整額	3,635	64,645
法人税等合計	317,602	250,380
少数株主損益調整前四半期純利益	463,903	483,829
四半期純利益	463,903	483,829

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	463,903	483,829
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,228	161,900
その他の包括利益合計	6,228	161,900
四半期包括利益	470,131	645,729
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	470,131	645,729
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	モバイル コンテンツ 事業 (千円)	モバイル コマース 事業 (千円)	パッケージ ソフト ウェア事業 (千円)	投資教育 事業 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	1,811,777	247,146	625,151	160,878	2,844,953	—	2,844,953
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,039	451	—	4,491	(4,491)	—
計	1,811,777	251,186	625,602	160,878	2,849,445	(4,491)	2,844,953
セグメント利益 (又は損失)	755,223	(21,521)	154,586	(2,801)	885,485	(188,008)	697,477

(注) 1. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去1,120千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△189,129千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益(又は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	モバイル コンテンツ 事業 (千円)	モバイル コマース 事業 (千円)	パッケージ ソフト ウェア事業 (千円)	投資教育 事業 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	1,762,236	423,757	344,286	204,373	2,734,654	—	2,734,654
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	141	—	141	(141)	—
計	1,762,236	423,757	344,428	204,373	2,734,796	(141)	2,734,654
セグメント利益	670,590	14,220	871	32,664	718,345	(187,559)	530,785

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去1,442千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△189,002千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。